

株主の皆さまへ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第57期の事業概況についてご報告申し上げます。

当事業年度における日本経済は、経済・金融緩和政策を背景に企業業績や雇用情勢の改善が見られるなど、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、円安に伴う原材料価格の高騰、消費税増税や天候不順による個人消費の停滞など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く経営環境についても、国内需要の低迷や円安に伴う主原料高、企業間における価格競争の激化等、厳しい状況が続いております。

そのようななか、国内外の新規市場並びに新規顧客の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推進し販売の拡大に取り組んでまいりました。その結果、当事業年度の売上高は12,084百万円(前事業年度比106.7%)、経常利益は1,102百万円(前事業年度比212.9%)、当期純利益は611百万円(前事業年度比199.1%)と増収増益となりました。

今後は、国内外での新市場の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推し進めるとともに、高付加価値製品の研究・開発に努めてまいります。また、生産効率、業務効率の向上を図り、さらなる企業体質の強化、収益の拡大を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましても、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



ヤスハラケミカル株式会社
代表取締役社長

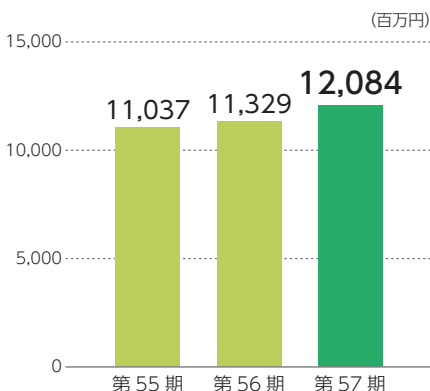
安原 稔二

財務ハイライト

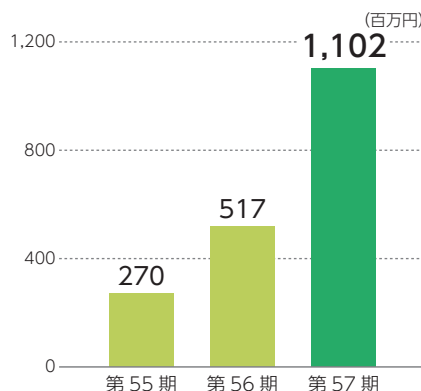
Financial Highlights

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

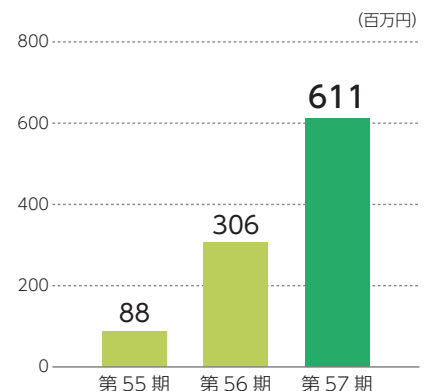
売上高



経常利益



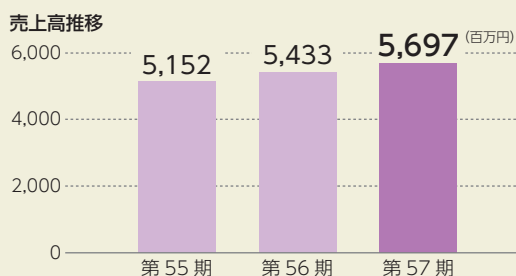
当期純利益



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

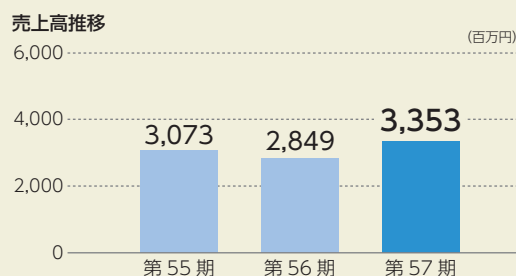
テルペン樹脂部門

自動車用品用途のテルペンフェノール樹脂及び変性テルペン樹脂が、輸出を中心に好調に推移しました。また、電子部品用途の水添テルペン樹脂が堅調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比104.8%と増収になりました。



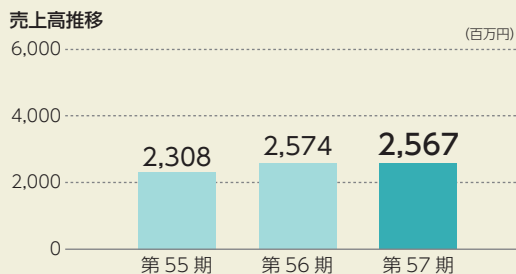
化成品部門

ペースト溶剤用途が需要低迷の影響を受け低調に推移しましたが、塗料用途及び電子機器用途の化学品が好調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比117.7%と増収になりました。



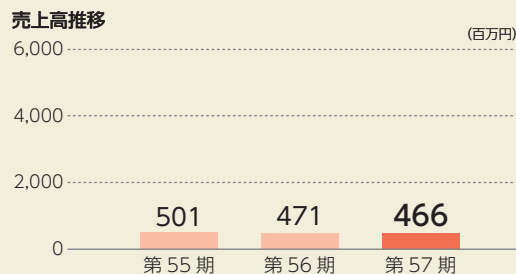
ホットメルト接着剤部門

食品包材用途の押し出しコーティング用ホットメルト接着剤及び生活用品用途の粘着剤が好調に推移しましたが、自動車部品用途の接着剤が低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比99.7%と減収になりました。



ラミネートフィルム部門

製本向け光沢加工紙用ラミネートフィルム及び商業印刷用フィルムが、国内需要の低迷と価格競争の影響を受け低調に推移しました。その結果、部門全体の売上高は、前事業年度比99.0%と減収になりました。



ハイライト

こんなところにもヤスハラケミカル。目に見えないところで活躍しています。

■ 医療用貼付剤の性能向上に貢献

当社テルペン樹脂はその安全性の高さから医療用の粘着剤に広く利用されています。皮膚に貼付する粘着剤としては、薬を貼った場所にだけ作用する局所用のほかに、全身に作用する経皮吸収型製剤が近年登場しています。当社製品は、皮膚に対する親和性と薬剤の分散性が調整でき、皮膚への刺激が少ない天然由来の製品として高い評価を得ています。



■ 環境に優しい接着剤を提案

段ボールやカーターの梱包用接着剤として、飲料や食品など様々な分野で、有機溶剤を含まないホットメルト接着剤が広く利用されています。当社のホットメルト接着剤は、熱安定性に優れ、糸曳きが少ないため、作業環境の改善に貢献します。また、天然由来のテルペン樹脂が配合されており、環境対応製品として注目されています。近年は、省エネの観点から、より低温で塗布できるホットメルト接着剤の開発を進めています。



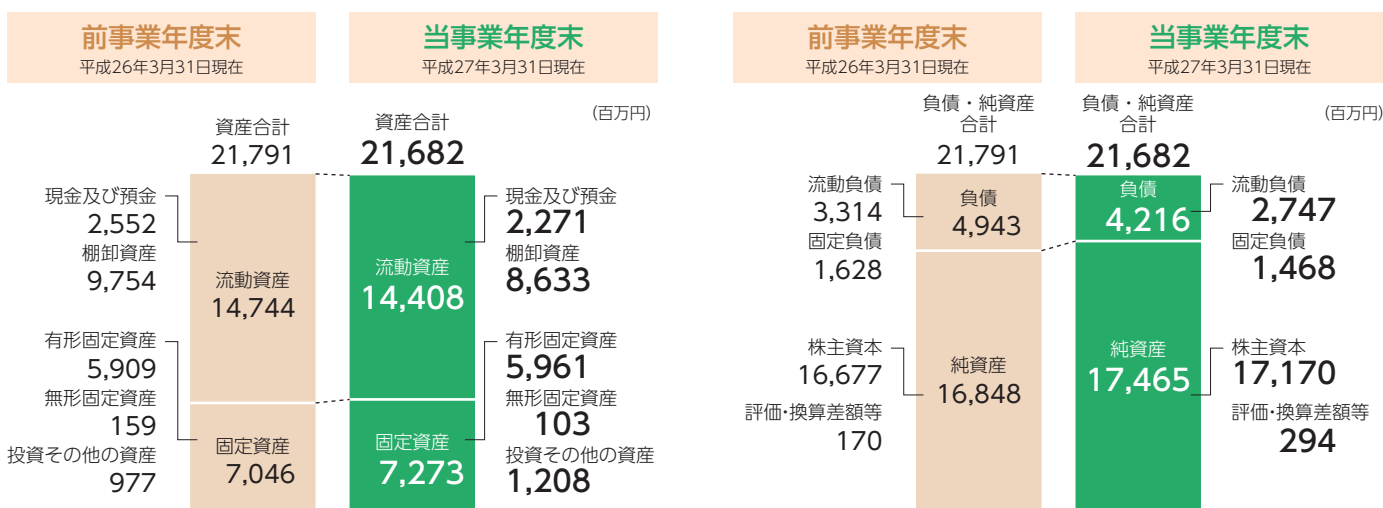
(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

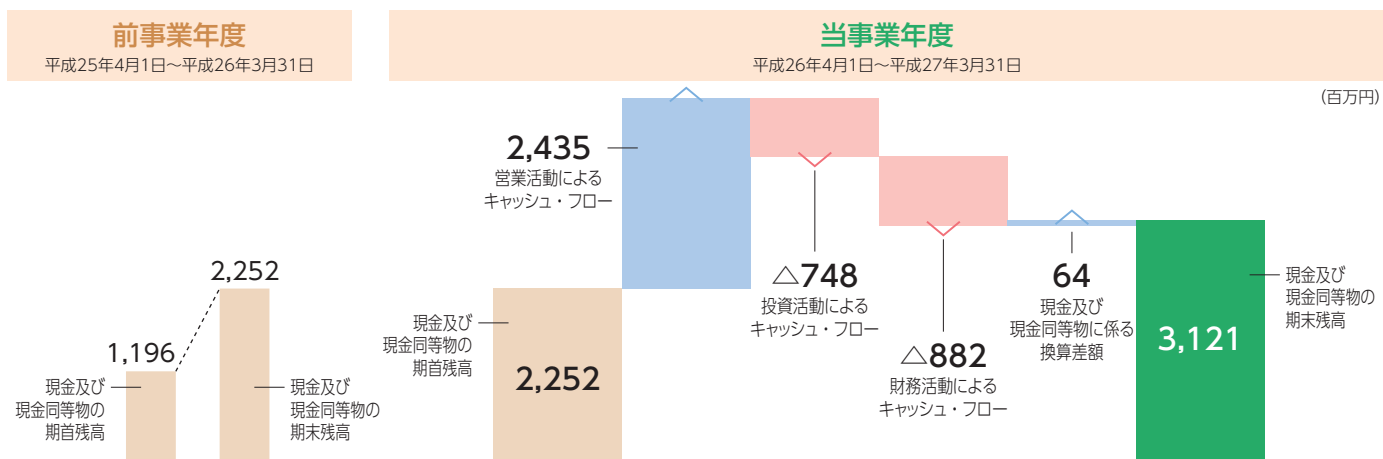
(百万円)

	前事業年度 平成25年4月1日～平成26年3月31日	当事業年度 平成26年4月1日～平成27年3月31日	前事業年度比
売上高	11,329	12,084	106.7 %
売上原価	9,320	9,445	101.3 %
売上総利益	2,009	2,639	131.4 %
販売費及び一般管理費	1,591	1,693	106.5 %
営業利益	417	945	226.2 %
経常利益	517	1,102	212.9 %
当期純利益	306	611	199.1 %

貸借対照表



キャッシュ・フロー計算書



株式の状況 (平成27年3月31日現在)

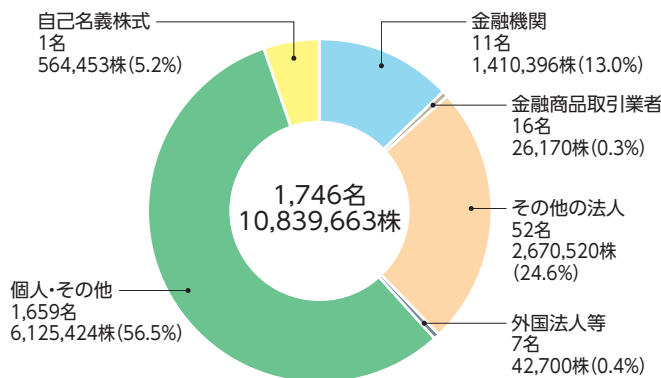
- 発行可能株式総数 22,000,000株
- 発行済株式の総数 10,839,663株
- 株主数(自己株式1名含む) 1,746名

●大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ワイエス興産有限会社	1,237	12.0
安原禎二	1,191	11.6
ヤスハラケミカル取引先持株会	765	7.4
敷田憲治	694	6.8
株式会社中国銀行	511	5.0
榎本通	504	4.9
沖津妙子	462	4.5
有限会社宗江	373	3.6
有限会社マキ	373	3.6
後藤一紀	245	2.4

(注) 1. 当社は、自己株式を564,453株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

●所有者別株式保有比率



(注) ()内の数値は株式数の比率を表示しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
公告方法	日本経済新聞に掲載

会社の概況 (平成27年3月31日現在)

商号	ヤスハラケミカル株式会社 YASUHARA CHEMICAL CO., LTD.
創業	昭和22年4月
設立	昭和34年2月24日
資本金	1,789,567,460円
従業員数	265名

主な事業内容

テルペン樹脂部門	テルペン系樹脂
化成部部門	合成香料原料、テルペン溶剤、ワックス
ホットメルト接着剤部門	ホットメルト接着剤
ラミネートフィルム部門	光沢ラミネートフィルム

営業所及び工場

本社	〒726-8632 広島県府中市高木町1080番地
東京オフィス	〒102-0071 東京都千代田区富士見二丁目7番2号 ステージビルディング4階
東日本営業所	〒180-0006 東京都武蔵野市中町一丁目19番18号 武蔵野センタービル4階
西日本営業所	〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目2番2-1100号 大阪駅前第2ビル11階
研究所	〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番 (福山工場内)
高木工場	〒726-8632 広島県府中市高木町1080番地
鶴飼工場	〒726-0002 広島県府中市鶴飼町800番111
福山工場	〒721-0956 広島県福山市箕沖町117番
総領工場	〒729-3702 広島県庄原市総領町亀谷1065番1
新居浜工場	〒792-0892 愛媛県新居浜市黒島一丁目7番7号
川内工場	〒899-1924 鹿児島県薩摩川内市港町字松原360番14

ホームページ <http://www.yschem.co.jp/>

役員 (平成27年3月31日現在)

代表取締役社長	安原 禎二
常務取締役	沖津 弘之 営業本部長兼技術部統括
取締役	敷田 憲治 購買部長
取締役	中居 英尚 生産本部長兼新居浜工場長
監査役(常勤)	大原 康徳
監査役	前岡 良
監査役	内林 誠之

(注) 監査役前岡良及び内林誠之の両氏は、社外監査役であります。

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。